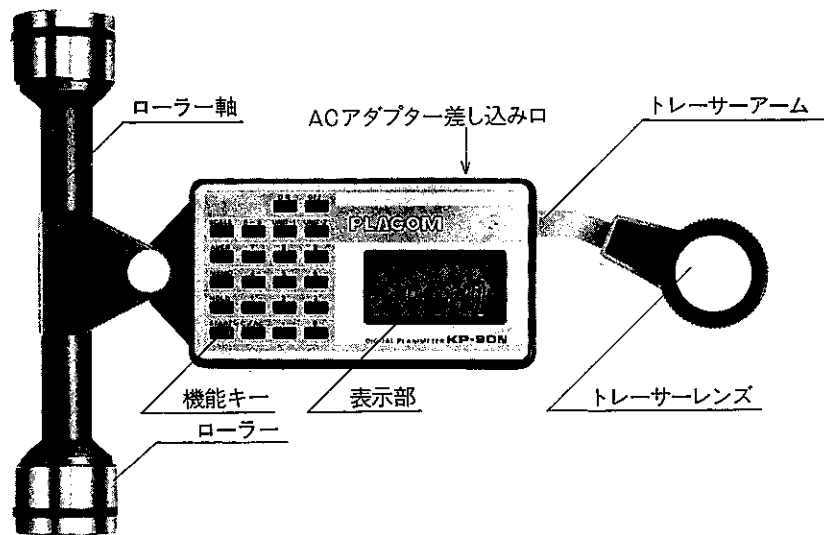
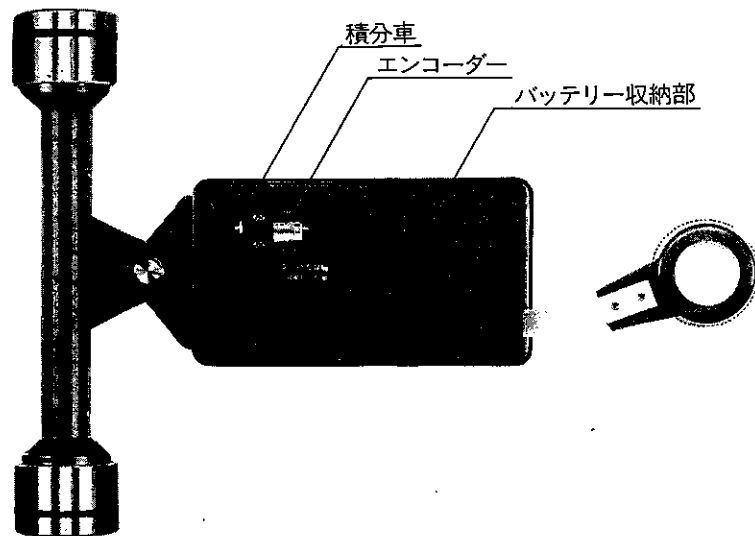


各部名称

〔表側〕

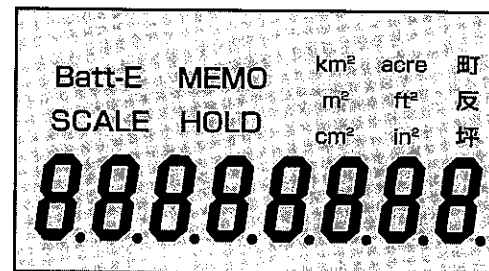


〔裏側〕



★シンボル表示の説明

シンボルは次のように表示されます。



(全点灯時)

SCALE：原寸（1：1）以外の縮尺を設定すると表示されます。

HOLD：測定中に **HOLD** を押したときに表示されます。

MEMO：メモリーに測定値が入っているときに表示されます。

Batt-E：充電の必要が生じたときに表示されます。

km² acre 町：選択されている単位が一つだけ表示されます。

m² in² 反：

cm² ft² 坪：

★キーの説明

ON : (オン) 電源オン

OFF : (オフ) 電源オフ

0~9 : 数字

. : 小数点

START : (スタート) 測定開始

HOLD : (ホールド) 測定一時固定

MEMO : (メモ) 測定終了&メモリー

AVER : (アベレージ) 平均値計算

UNIT1 : (ユニット1) 単位系選択

UNIT2 : (ユニット2) 各単位系内で単位を選択

SCALE : (スケール) 縮尺の設定

R-S : このキーは使われておりません

C/AC : (クリアー) メモリー、測定値の消去

★電源について

この器機はD/C (電池式直流)、A/C (交流) の二電源方式です。

●D/C電源 (電池式直流)

ニッケルカドミウム蓄電池が内蔵されています。通常使用において約30時間連続使用が可能です。電圧が低下した時は“Batt-E”が表示されます。

●A/C100V電源

専用A/Cアダプターを使用することにより、A/C100Vからでも直接使用できます。

●オートパワーオフ機能

約5分

●単位、縮尺の保持

電源を切っても単位と縮尺は記憶されています。再び電源を入れますと、前に設定した単位、縮尺で測定できます。

★測定方法

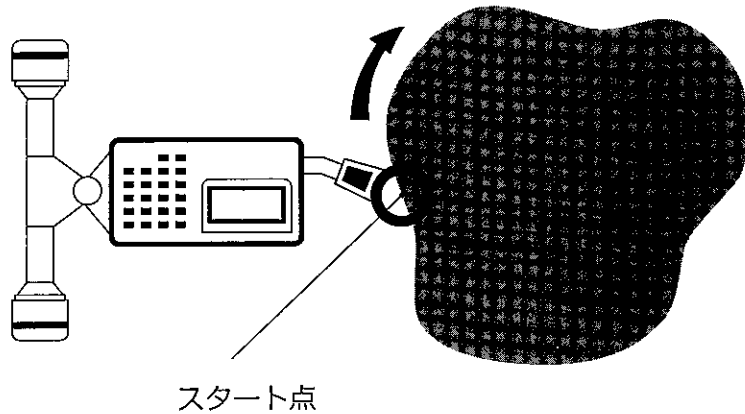
以下のメニューの必要なところをよくお読みください。

| | |
|---------------|----|
| 測定をしたい..... | 1章 |
| 1-1 普通の図形 | |
| 1-2 ドーナツ型の図形 | |
| 1-3 離れた2つの図形 | |
| 単位を選択したい..... | 2章 |
| 縮尺を設定したい..... | 3章 |
| 平均値を求めたい..... | 4章 |

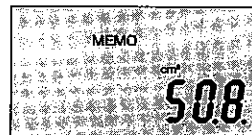
また各章の最後にある注意書きは、必ずお読みください。

★1章 測定方法

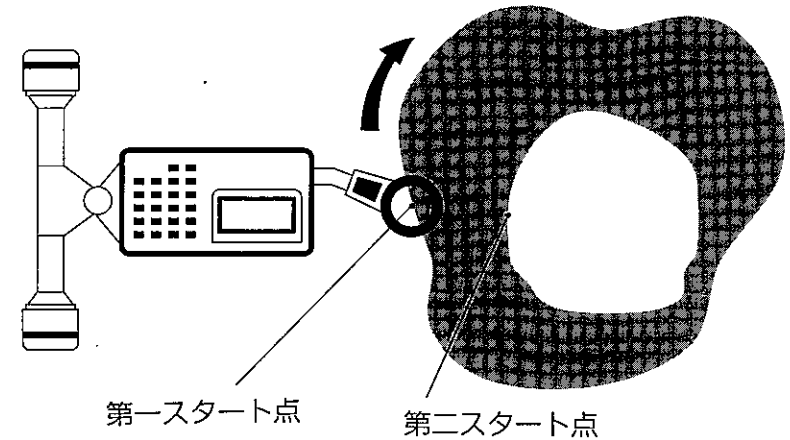
1-1 普通の図形



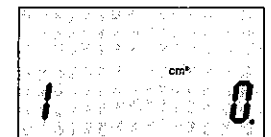
- 1 : 外周の任意の位置に印を付け、そこをスタート点とします。トレーズレンズの中心をスタート点に合わせます。
- 2 : **START** キーを押します。
ブザーが鳴り、数字は0になります。
左端に測定回数が表示されます。
- 3 : 時計方向に外周をトレースします。
- 4 : 1周したなら、**MEMO** キーを押して終了です。ブザーが鳴り“MEMO”が点灯し、測定値を表示します。



1-2 ドーナツ型



- 1 : 図形の外周の任意の位置に印を付け、そこを外周スタート点とします。また内周の任意の位置にも印を付けてそこを内周スタート点とします。トレーズレンズの中心を外周スタート点に合わせます。
- 2 : スタートキーを押します。ブザーが鳴り、数字は0になります。左端に測定回数が表示されます。
- 3 : 時計方向に外周をトレースします。
- 4 : 1周したなら、**HOLD** キーを押して、一時的に測定をストップします。
この時、“HOLD”が表示されています。
数値は固定されています。



5：トレースレンズの中心を内周スタート点に合わせます。

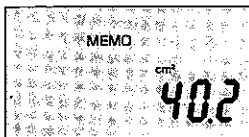


6：[HOLD] キーを押して、ホールドを解除します。“HOLD”は消えます。

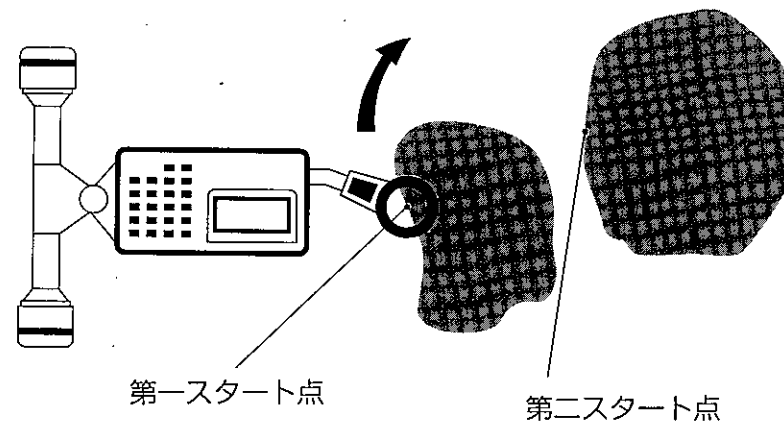


7：内周を反時計方向にトレースします。

8：1周したなら、MEMOキーを押して終了です。ブザーが鳴り“MEMO”が点灯し、測定値を表示します。

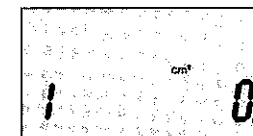


1-3 2つの図形が離れている。



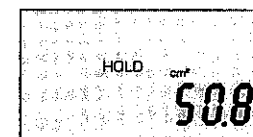
1：第一図形の外周の任意の位置に印を付け、そこを第一スタート点とします。また第二図形外周の任意の位置にも印を付けてそこを第二スタート点とします。トレースレンズの中心を第一スタート点に合わせます。

2：スタートキーを押します。ブザーが鳴り、数字は0になります。左端に測定回数が表示されます。

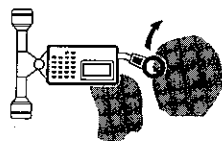


3：時計方向に外周をトレースします。

4：1周したなら、[HOLD] キーを押して、一時的に測定をストップします。この時、“HOLD”が表示されます。数字は固定されています。



5：トレースレンズの中心を第二スタート点に合わせます。

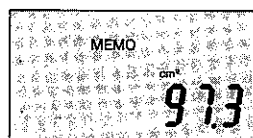


6：[HOLD] キーを押して、測定を再び開始します。“HOLD”は消えます。



7：第二図形を時計方向にトレースします。

8：1周したなら、MEMOキーを押して終了です。ブザーが鳴り“MEMO”が点灯し、測定値を表示します。



★注意

※もしトレースをし間違えたなら、もう一度スタート点にレンズを合わせ、スタートキーを押してやり直します。

※測定値がオーバー（99999999以上）あるいはアンダー（0.0000001以下）となると表示できる値となるように自動的に単位を変更します。それでも表示できないときは縮尺が1：1になります。

※測定回数は、10回までです。11回目はすべてのメモリーを消去して、1回目に戻ります。

2章 単位の選択

単位はメートル系（cm、m、km）、インチ系（in、ft、acre）、坪系（坪、反、町）の中から、選択できます。

1：[UNIT1] を押す毎に、[メートル系→インチ系→坪系]の順に選択できます。

2：単位系が決まったら、[UNIT2] を押す毎に単位は以下のように選択できます。

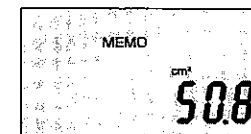
| | | | | | |
|---------|----|---------|------|---------|---|
| [UNIT1] | km | [UNIT1] | acre | [UNIT1] | 町 |
| でメートル系 | ↑ | でインチ系 | ↑ | で坪系 | ↑ |
| を選択した場合 | m | を選択した場合 | ft | を選択した場合 | 反 |
| | ↑ | | ↑ | | ↑ |
| | cm | | in | | 坪 |
| | ↑ | | ↑ | | ↑ |

★注意

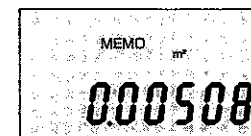
※単位を変更しますと、測定値もそれに応じて計算し直されて表示されます。

〔例〕

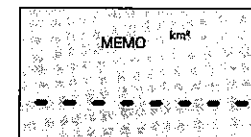
現在cm²が選択されているとします。



[UNIT2] を押してm²を選択しますと右のように表示されます。



※単位の変更によって計算値がオーバー（99999999以上）、あるいはアンダー（0.0000001以下）となると、右のように表示されます。



※オートパワーオフ、及び [OFF] キーで電源を切っても単位は記憶されています。ですから新たに設定をし直すまで、そのままですることができません。

※この機械は1feet=12inchで計算しています。

※ha（ヘクタール）で測定したい場合はkm²で測定し、100で割ってください。
あるいはm²で測定し、10000を掛けてください。

3章 縮尺の設定

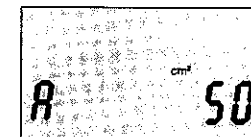
- 1：縮尺は縦（Aスケール）、横（bスケール）の2つを設定します。
- 2：まず測定状態でないことを確認してください。測定状態ですと、SCALEキーは無視されます。

- 3： **SCALE** を押します。
現在のAスケールが表示されます。

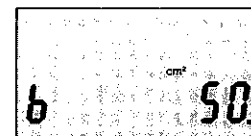


- 4：もし変更しないなら、8へ進んでください。

- 5：数字キーで縦方向の縮尺を入力します。
例えば50分の1の地図なら50と入力します。
もし間違ったなら **C/AC** キーを押してからもう一度入れてください。

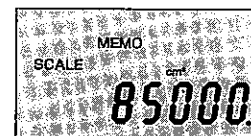


- 6： **SCALE** を押します。現在のbスケールが表示されます。もしAスケールが変更されているなら、Aスケールと同じ値が表示されます。bスケールがこのままでよいなら、8へ進みます。



- 7：数字キーで横方向の縮尺を入力します。
もし間違ったなら **C/AC** キーを押してからもう一度入れてください。

- 8： **SCALE** を押します。縮尺入力終了です。

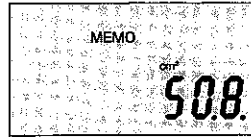


★注意

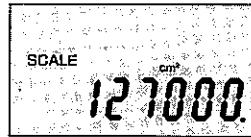
※縮尺を変更しますと、それに伴って
測定値も計算し直されて表示されます。

[例]

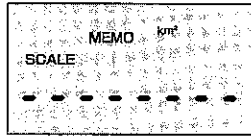
縮尺 1 : 1 (A=1、b=1) の時の測定値
は右の通りだとします。



縮尺 50 分の 1 (A=50、b=50) に変更
しますと、右の値になります。



縮尺の変更によって計算値がオーバー
(99999999以上)、あるいはアンダー
(0.0000001以下) となると、
右のように表示されます。



※オートパワーオフ、及び **OFF** キーで電源を切っても縮尺は記憶されてい
ます。ですから新たに設定をし直すか消去するまで、そのまま使うことがで
きます。

4章 平均値の求め方

例えば 3 回の測定値の平均値を求めてみましょう。

1 : まず測定状態でないことを確認してください。

2 : もし "MEMO" が表示されていたら、
メモリーに以前のデータが残っています。

C/AC キーを押してメモリーを
消去してください。

"MEMO" が消えたことを確認してください。

3 : 1 章の測定手順で 3 回測定します。

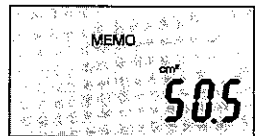
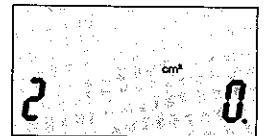
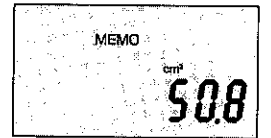
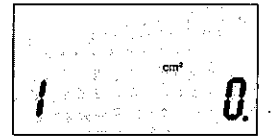
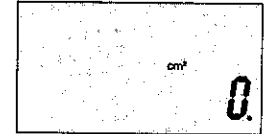
START キーを押して測定をします。

MEMO キーを押して 1 回目の終了です。

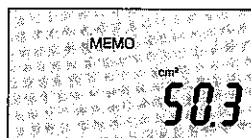
START キーを押して 2 回目を
測定します。

MEMO キーを押して 2 回目の終了です。

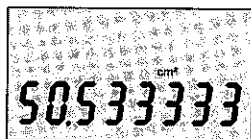
START キーを押して 3 回目を
測定します。



MEMO キーを押して3回目の終了です。



4 : **AVER** を押すと平均値が表示されます。
またメモリーも消去されます。



★注意

※メモリーには10回分のデータしか累積されません。ですから11回以上の平均値は求められません。11回目を測定しますと、それ以前の10回分のデータは消去され、1回目になります。

★クイック マニュアル

- 測定
START を押し、外周をトレースし、**MEMO** で終了。
- 平均値
何回か（10回以内）測定し、**AVER** を押す。
- 縮尺設定
SCALE を押し、縦の縮尺を設定、また **SCALE** を押し、横の縮尺を設定、
また **SCALE** を押し、終了。
- 単位の設定
UNIT1 と **UNIT2** で選択。